

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 未サポート OS 動作検証確認情報

ソフトウェア名称	動作確認結果			
	SAS アレイ コントローラカード PRAID EP420i <PY-SR3C42>	SAS アレイ コントローラカード PRAID EP400i <PY-SR3C41>	SAS アレイ コントローラカード PRAID CP400i <PY-SR3FA>	SAS コントローラカード PSAS CP400i <PY-SC3FA>
CentOS 7.1(x86_64)	○(注 6, 7)	○(注 6, 7)	○[詳細](注 7)	-
CentOS 6.6(x86)	○(注 1, 6, 7)	○(注 1, 6, 7)	○[詳細](注 1, 7)	-
CentOS 6.6(x86_64)	○(注 1, 6, 7)	○(注 1, 6, 7)	○[詳細](注 1, 7)	-
CentOS 6.5(x86)	○(注 1, 6, 7)	○(注 1, 6, 7)	○[詳細](注 1, 7)	-
CentOS 6.5(x86_64)	○(注 1, 6, 7)	○(注 1, 6, 7)	○[詳細](注 1, 7)	-
Ubuntu Server 14.04 LTS(x86_64)	-	-	○[詳細]	-
Windows7(x86_64)	-	○[詳細](注 3)	-	○[詳細](注 3)

凡例
○：インストール可 ×：インストール不可 -：未確認 ※ServerView Agents は対象 OS でインストールのみ確認。
注釈
<ol style="list-style-type: none"> 1. LAN ドライバが必要。 2. TEXT モードでインストール。 3. SAS コントローラ対応ドライバ、LAN ドライバが必要。 4. SAS コントローラ対応ドライバが必要。 5. SATA コントローラ対応ドライバが必要。 6. 論理的にインストール可。 7. その他。

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 SAS アレイコントローラカード CentOS 7.1 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1

- ・ BIOS : R1. 24. 0
- ・ CPU : Intel® Xeon® E5-2603 v3 1. 60GHz/6 コア/15MB ×2
- ・ メモリ : 16GB
- ・ NIC : オンボード 1000BASE-T ×2 or 1000BASE-T ×4
- ・ HDD : SAS HDD-300GB ×2
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Emulex Corporation OneConnect NIC (Skyhawk) (rev 10) 【be2net】
- ・ VGA : Matrox Electronics Systems Ltd. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 05)
- ・ RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS3008
PCI-Express Fusion-MPT SAS-3 (rev 02) 【megaraid_sas】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 7.1 (x86_64)
- ・カーネル版数 : 3. 10. 0-229. e17. x86_64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 CentOS 7.1 (x86_64) 3.10.0-229.el7.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※1
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ip コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(ip, nmcli, nmtui など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView_RAID 6.2-6]のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 USB ポートの使用の有無にかかわらず USB3.0 機能を無効に設定してください。

USB3.0 機能を無効に設定するには、BIOS の[Advanced]メニューの[USB Configuration]で [xHCI Mode]に” Disabled”を設定する。

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install CentOS 7」を選択し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

[- トップへ戻る -](#)

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 SAS アレイコントローラカード CentOS 6.6 (x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1

- ・ BIOS : R1. 24. 0
- ・ CPU : Intel® Xeon® E5-2603 v3 1. 60GHz/6 コア/15MB ×2
- ・ メモリ : 16GB
- ・ NIC : オンボード 1000BASE-T ×2 or 1000BASE-T ×4
- ・ HDD : SAS HDD-300GB ×2
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Emulex Corporation OneConnect NIC (Skyhawk) (rev 10) 【be2net】
- ・ VGA : Matrox Electronics Systems Ltd. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 05)
- ・ RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS3008
PCI-Express Fusion-MPT SAS-3 (rev 02) 【megaraid_sas】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 6.6 (x86)
- ・カーネル版数 : 2. 6. 32-504. e16. i686

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 CentOS 6.6 (x86) 2.6.32-504.el6.i686

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※2
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成を変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID 6.2-6]のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 7.10-08] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 FTS 社サイトより be2net ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/download/index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Product selection(manually search)」より「Fujitsu Server PRIMERGY」→「PRIMERGY RXxxx」
→「PRIMERGY RX2560 M1」→「Red Hat Enterprise Linux」→「Red Hat Enterprise Linux 6(x86)」
→「LAN」→「Emulex XE104/XE102」→「RHDUP driver package be2net 10.2.405.22-1 for RHEL6.6」
[ドライバ情報]

Date : 11.12.2014

Size : 0.21MB

Version : 10.2.405.22-1-0

Manufacturer : Fujitsu Technology Solutions

※2 USB ポートの使用の有無にかかわらず USB3.0 機能を無効に設定してください。

USB3.0 機能を無効に設定するには、BIOS の [Advanced] メニューの [USB Configuration] で [xHCI Mode] に "Disabled" を設定する。

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install or upgrade an existing system」を選択し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

[- トップへ戻る -](#)

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 SAS アレイコントローラカード CentOS 6.6 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1

- ・ BIOS : R1. 24. 0
- ・ CPU : Intel® Xeon® E5-2603 v3 1. 60GHz/6 コア/15MB ×2
- ・ メモリ : 16GB
- ・ NIC : オンボード 1000BASE-T ×2 or 1000BASE-T ×4
- ・ HDD : SAS HDD-300GB ×2
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Emulex Corporation OneConnect NIC (Skyhawk) (rev 10) 【be2net】
- ・ VGA : Matrox Electronics Systems Ltd. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 05)
- ・ RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS3008
PCI-Express Fusion-MPT SAS-3 (rev 02) 【megaraid_sas】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 6.6 (x86_64)
- ・カーネル版数 : 2. 6. 32-504. e16. x86_64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 CentOS 6.6 (x86_64) 2.6.32-504.el6.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※2
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成を変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID 6.2-6]のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 7.10-08] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 FTS 社サイトより be2net ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/download/index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Product selection(manually search)」より「Fujitsu Server PRIMERGY」→「PRIMERGY RXxxx」
→「PRIMERGY RX2560 M1」→「Red Hat Enterprise Linux」→「Red Hat Enterprise Linux 6(x86_64)」
→「LAN」→「Emulex XE104/XE102」→「RHDUP driver package be2net 10.2.405.22-1 for RHEL6.6」
[ドライバ情報]

Date : 11.12.2014

Size : 0.21MB

Version : 10.2.405.22-1-0

Manufacturer : Fujitsu Technology Solutions

※2 USB ポートの使用の有無にかかわらず USB3.0 機能を無効に設定してください。

USB3.0 機能を無効に設定するには、BIOS の[Advanced]メニューの[USB Configuration]で [xHCI Mode]に” Disabled” を設定する。

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install or upgrade an existing system」を選択し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

-トップへ戻る-

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 SAS アレイコントローラカード CentOS 6.5 (x86) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1

- ・ BIOS : R1. 24. 0
- ・ CPU : Intel® Xeon® E5-2603 v3 1. 60GHz/6 コア/15MB ×2
- ・ メモリ : 16GB
- ・ NIC : オンボード 1000BASE-T ×2 or 1000BASE-T ×4
- ・ HDD : SAS HDD-300GB ×2
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Emulex Corporation OneConnect NIC (Skyhawk) (rev 10) 【be2net】
- ・ VGA : Matrox Electronics Systems Ltd. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 05)
- ・ RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS3008
PCI-Express Fusion-MPT SAS-3 (rev 02) 【megaraid_sas】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 6.5 (x86)
- ・カーネル版数 : 2. 6. 32-431. e16. i686

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 CentOS 6.5 (x86) 2.6.32-431.el6.i686

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※2
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID 6.2-6]のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 7.10-08] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 FTS 社サイトより be2net ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/Download/Index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Product selection(manually search)」より「Fujitsu Server PRIMERGY」→「PRIMERGY RXxxx」
→「PRIMERGY RX2560 M1」→「Red Hat Enterprise Linux」→「Red Hat Enterprise Linux 6(x86)」
→「LAN」→「Emulex XE104/XE102」→「RHDUP driver package be2net 10.2.405.22-1 for RHEL6.5」
[ドライバ情報]

Date : 22.01.2015

Size : 0.21MB

Version : 10.2.405.22-1-0

Manufacturer : Fujitsu Technology Solutions

※2 USB ポートの使用の有無にかかわらず USB3.0 機能を無効に設定してください。

USB3.0 機能を無効に設定するには、BIOS の [Advanced] メニューの [USB Configuration] で [xHCI Mode] に "Disabled" を設定する。

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install or upgrade an existing system」を選択し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

[- トップへ戻る -](#)

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 SAS アレイコントローラカード CentOS 6.5 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1

- ・ BIOS : R1. 24. 0
- ・ CPU : Intel® Xeon® E5-2603 v3 1. 60GHz/6 コア/15MB ×2
- ・ メモリ : 16GB
- ・ NIC : オンボード 1000BASE-T ×2 or 1000BASE-T ×4
- ・ HDD : SAS HDD-300GB ×2
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Emulex Corporation OneConnect NIC (Skyhawk) (rev 10) 【be2net】
- ・ VGA : Matrox Electronics Systems Ltd. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 05)
- ・ RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS3008
PCI-Express Fusion-MPT SAS-3 (rev 02) 【megaraid_sas】

■ディストリビューション

- ・ディストリビューション : CentOS 6.5 (x86_64)
- ・カーネル版数 : 2. 6. 32-431. e16. x86_64

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 CentOS 6.5 (x86_64) 2.6.32-431.el6.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※2
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成を変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID 6.2-6]のインストール	OK
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents 7.10-08] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 FTS 社サイトより be2net ドライバを入手し適応

URL: <http://support.ts.fujitsu.com/Download/Index.asp>

入手方法は、上記 URL にアクセス後、以下選択を行います。

「Product selection(manually search)」より「Fujitsu Server PRIMERGY」→「PRIMERGY RXxxx」
→「PRIMERGY RX2560 M1」→「Red Hat Enterprise Linux」→「Red Hat Enterprise Linux 6(x86_64)」
→「LAN」→「Emulex XE104/XE102」→「RHDUP driver package be2net 10.2.405.22-1 for RHEL6.5」
[ドライバ情報]

Date : 22.01.2015

Size : 0.21MB

Version : 10.2.405.22-1-0

Manufacturer : Fujitsu Technology Solutions

※2 USB ポートの使用の有無にかかわらず USB3.0 機能を無効に設定してください。

USB3.0 機能を無効に設定するには、BIOS の [Advanced] メニューの [USB Configuration] で [xHCI Mode] に "Disabled" を設定する。

■インストール手順

1. DVD ブート後、「Install or upgrade an existing system」を選択し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

- トップへ戻る -

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 SAS アレイコントローラカード Ubuntu Server 14.04 LTS (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1

- ・ BIOS : R1. 24. 0
- ・ CPU : Intel® Xeon® E5-2603 v3 1.60GHz/6 コア/15MB ×2
- ・ メモリ : 16GB
- ・ NIC : オンボード 1000BASE-T ×2 or 1000BASE-T ×4
- ・ HDD : SAS HDD-300GB ×2
- ・ 外部記憶 : DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : Emulex Corporation OneConnect NIC (Skyhawk) (rev 10) 【be2net】
- ・ VGA : Matrox Electronics Systems Ltd. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 05)
- ・ RAID : LSI Logic / Symbios Logic SAS3008
PCI-Express Fusion-MPT SAS-3 (rev 02) 【megaraid_sas】

■ディストリビューション

- ・ ディストリビューション : Ubuntu Server 14.04 LTS(x86_64)
- ・ カーネル版数 : 3.16.0-30-generic

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 Ubuntu Server 14.04 LTS (x86_64) 3.16.0-30-generic

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK ※1
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成を変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID]のインストール	—
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 デフォルト状態では root ログインできない(root のパスワードを設定すれば可能)

■インストール手順

1. メディアから起動し、Language の変更を行います、English -> 日本語に変更。
2. 「Ubuntu Server をインストール(I)」を選択し、Enter を押します。
3. 以降は通常のインストールを実行します。

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 SAS アレイコントローラカード Windows7 Service Pack 1(64bit) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1

- ・ BIOS : R1. 24. 0
- ・ CPU : Intel® Xeon® E5-2640 v3 2. 6GHz/8 コア/20MB ×2
- ・ メモリ : 16GB
- ・ NIC : オンボード 1000BASE-T ×2
- ・ HDD : SATA HDD-500GB ×2
- ・ 外部記憶 : USB DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : コンバージド・ネットワーク・アダプタ Windows ドライバ v10. 2. 405. 32
- ・ chipset : Intel® Chipset Device Software Patsburg Production Driver
Ver. 1. 2. 3. 2005 及び Ver. 9. 4. 2. 1017
- ・ SAS : MegaRAID SAS Windows Driver V6. 704. 12

■Windows

- ・ エディション : Windows7 Professional (64bit)
- ・ ServicePack : SP1

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 Windows7 Professional (64bit)

項番	確認項目	結果
1	HDD ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※2
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	Administrator 権限ユーザでログインした状態で、「スタート」→シャットダウンにてシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ipconfig コマンド)されるか	—
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(コントロールパネル)を利用してネットワーク構成を変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	—
18	ftp サービスが利用できるか	—
19	Windows ファイル共有サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID]のインストール	—
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	OK
25	片側の HDD が抜けている状態で、Administrator ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、Administrator ユーザにてログインできるか	—
31	NMI を使用したメモリ ダンプが取得できるか	—

※1 ドライバ「SAS アレイコントローラ MegaRAID SAS Windows Driver V6.704.12」を入手し適用
<http://azby.fmworld.net/app/customer/driversearch/ia/drviadownload?driverNumber=F1018804>

※2 ドライバ「コンバージド・ネットワーク・アダプタ Windows ドライバ v10.2.405.32」を入手し適用
<http://azby.fmworld.net/app/customer/driversearch/ia/drviadownload?driverNumber=F1019406>

■インストール手順

1. OS インストール前に RAID カードにて RAID ボリュームを構成します。
2. DVD ブートし、Windows7 のインストールを開始します。
3. インストール中に、RAID コントローラのドライバを組み込みます。
4. 以降、画面の指示に従いインストールを行います。
5. インストール後に、必要なドライバをインストールします。

以下のドライバをインストールします。

- HotFix KB2846340 を適用
- コンバージド・ネットワーク・アダプタ Windows ドライバ
- Intel チップセットドライバ
- ディスプレイドライバ
- ServerView iRMC HTI デバイスドライバ

[-トップへ戻る-](#)

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 SAS コントローラカード Windows7 Service Pack 1(64bit) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における動作結果であり、お客様のご利用環境での未サポート OS の動作を保証するものではなく、未サポート OS の利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポート OS の導入・利用を行なったことによりお客様に損害が生じた場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGY に関連した未サポート OS に関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。そのため、未サポート OS の導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしている OS 環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

■ハード環境

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1

- ・ BIOS : R1. 24. 0
- ・ CPU : Intel® Xeon® E5-2640 v3 2. 6GHz/8 コア/20MB ×2
- ・ メモリ : 16GB
- ・ NIC : オンボード 1000BASE-T ×2
- ・ HDD : SATA HDD-500GB ×2
- ・ 外部記憶 : USB DVD ドライブ

■デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・ LAN : コンバージド・ネットワーク・アダプタ Windows ドライバ v10. 2. 405. 32
- ・ chipset : Intel® Chipset Device Software Patsburg Production Driver
Ver. 1. 2. 3. 2005 及び Ver. 9. 4. 2. 1017
- ・ SAS : 12Gbps SAS HBA Windows Driver V2. 50. 85

■Windows

- ・ エディション : Windows7 Professional (64bit)
- ・ ServicePack : SP1

■インストール及び動作確認結果

PRIMERGY TX2560 M1/RX2560 M1 Windows7 Professional (64bit)

項番	確認項目	結果
1	HDD ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※1
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	別途必要 ※2
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	CD/DVD-ROM ドライブが利用できるか	OK
11	Administrator 権限ユーザでログインした状態で、「スタート」→シャットダウンにてシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ipconfig コマンド)されるか	—
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(コントロールパネル)を利用してネットワーク構成を変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	—
18	ftp サービスが利用できるか	—
19	Windows ファイル共有サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerView RAID]のインストール	—
22	コントローラメーカー製ディスクアレイ管理ツールのインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView agents] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、Administrator ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、Administrator ユーザにてログインできるか	—
31	NMI を使用したメモリ ダンプが取得できるか	—

※1 ドライバ「12Gbps SAS HBA Windows Driver V2.50.85」を入手し適用

<http://azby.fmworld.net/app/customer/driversearch/ia/drviadownload?driverNumber=F1018806>

※2 ドライバ「コンバージド・ネットワーク・アダプタ Windows ドライバ v10.2.405.32」を入手し適用

<http://azby.fmworld.net/app/customer/driversearch/ia/drviadownload?driverNumber=F1019406>

■インストール手順

1. DVD ブートし、Windows7 のインストールを開始します。
2. インストール中に、SAS コントローラのドライバを組み込みます。
3. 以降、画面の指示に従いインストールを行います。
4. インストール後に、必要なドライバをインストールします。
以下のドライバをインストールします。
 - HotFix KB2846340 を適用
 - コンバージド・ネットワーク・アダプタ Windows ドライバ
 - Intel チップセットドライバ
 - ディスプレイドライバ
 - ServerView iRMC HTI デバイスドライバ

[-トップへ戻る-](#)